

詫び。



#### お品書き

• 前回までのおさらい + 演習問題! (聞きながらpaiza立ち上げておいてねー!)

きちんとした配列。

(次回前半をifなどの条件文、配列とアドレスの関係は次回の後半に回したいと思います!)

• 今までのおさらいと演習問題!

# 前回までのおさらい

#### • 第一回目

->出力関数printf,繰り返し構文(for, while, do…while)

#### ・第二回

- ->演算子、型、printfの使い方!
- ->ちょっとだけ配列…(char \*って何だろうはもうちょい後に回します!)

# printf

for文

While文

do…while文

第一回

### 第一回

printf

←標準出力関数、
第一引数を出力

for文 ←繰り返す回数がわかっている ときに使う

While文 ←繰り返す回数がわからない と きに使う

do…while文←1回以上繰り返したいと きに使う

### やってみよう!

paiza.ioというサイト (https://paiza.io/ja)で 試しに書いてみよう!

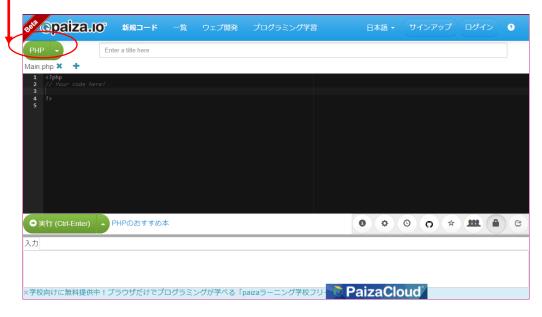
#### 3.これが出れば正解!



1. コード作成を試してみるを押す。



2.左上の丸井ボタンの矢印を押してCを選択



# 復習問題!

• **Q1.** 30を7で割ったあまりの回数だけHi!って表示してみよう!ヒント: 余りは余剰、つまり前回の演算子…% (制限時間3分)

#### 解答

• **Q1.** 30を7で割ったあまりの回数だけ Hi!って表示してみよう!

ヒント: 余りは余剰、つまり前回の演算 子…%

```
/*参照するライブラリを指定*/
    #include <stdio.h>
    /*戻り値の型 関数名 (引数の型)*/
     int-main(void)
       int i;
    → /*30を7で割ったあまり、つまり30-%-7-=-2*/
    → /*2回出力されるよ!*/
10
    \rightarrow while \cdot (i \cdot < \cdot (30 \cdot % \cdot 7))
    ⇒ printf("Hi");
13
14

→ i++;
15
    → /*main関数の戻り値*/
16
    → return-0;
17
18
```

# 復習問題!

```
Q2. 1,2,3,…10までを表示してみよう!
ヒント:繰り返し用の変数は処理の中でも使えるよ!たとえば、int i;
for(i = 0;i<最大値;i++)</li>
{printf("%d", ここにも使える);….}
おっとこれ以上は言えねぇ…
(制限時間2分)
```

#### 解答!

```
Q2. 1,2,3,…10までを表示してみよう!
ヒント:繰り返し用の変数は処理の中でも使えるよ!たとえば、int i;
for(i = 0;i<n;i++)</li>
{printf("%d", ここにも使える);….}
おっとこれ以上は言えねぇ…
```

```
/*参照するライブラリを指定*/
    #include-<stdio.h>
    /*戻り値の型 関数名 (引数の型)*/
    int-main(void)
6
        int i;
        for (i = 0; i < 10; i++)
10
           printf("%d",i-+-1);
12
        /*main関数の戻り値*/
13
        return-0;
14
15
```

### 第二回 間違えやすい 演算子まとめ

演算子	意味		
x=y	xにyを代入		
x==y	xとyは等しいか?		
x>=y	xはy以上		
x(算術演算子)=y x(算術演算子)yの結果をxに代入			

### インクリメント・デクリメント演算子

演算子	意味
++X	?
X++	?
X	?
X	?

インクリメント・ デクリメント演算 マ

演算子	意味
++X	(前置演算)xに <b>1足してxを評価</b>
X++	(後置演算)xを <b>評価してからxに1</b> <b>足す</b>
X	(前置演算)xから <b>1引いてxを評価</b>
X	(後置演算) xを <mark>評価してからxから1引く</mark>

# 型の種類

#### 実行環境によって異なる

型名	意味	最大値	大きさ
void	型なし	_	-
char	文字型	-128 ~ 128	1
int	整数型	-2147483648~2147483647	4
float	単精度浮動小 数点型	-3.402823e+38 ~ 3.402823e+38	4
double	倍精度浮動小 数点型	-1.797693e+308~1.797693e+308	8

```
#include <stdio.h>
     int-main(void)
         int i;
 6
         i = -0;
 8
     → /*選択肢1*/
     ⇒ printf("Output-1\n");
10
    → while · (i++ · < · 5)</p>
11
12 → printf("Hi?");
13
14
        i-=-0;
15
    → /*選択肢2*/
16
    → printf("Output-2\n");
17
18 \rightarrow while (++i \cdot \langle -5)
19 → printf("Hi!");
20
```

# Q4.

以下の出力はどちらが多いかな?

#### こたえ!

- 以下の出力はどちらが多いかな?
- 選択肢1のほうが多いよー!
- Oからはじまるのと、1から始まるの と

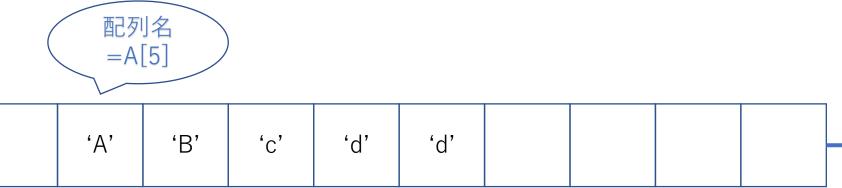
```
#include <stdio.h>
     int-main(void)
        int i;
 6
        i-=-0;
 8
9
        printf("Output-1\n");
10
        while (i++\cdot<-5)
11
12
            printf("Hi?");
13
14
15
        /*選択肢2*/
16
       printf("Output-2\n");
17
       while (++i < -5)
18
19
    → printf("Hi!");
20
```

# 本題!

### 西马列

- 定義の仕方と使い方、注意点。
- 演習問題





0番目 1番目 2番目 3番目 4番目

### 定義の仕方と使い方

#### ・定義

型名 配列名[配列の要素の数]

・要素の取り出し方

配列名[要素の先頭からの番号]

・注意点

添え字の始まりは0から。最後は要素の最大値-1までしかない。

### 初期値は不定! 自分で入れないといけない!

```
/*参照するライブラリを指定*/
    #include <stdio.h>
    /*戻り値の型 関数名 (引数の型)*/
    int-main(void)
       /*宣言*/
        /*型 配列名
                   [配列の大きさ]*/
        int⇒a[5];
9
        char-b[20];
10
11
        /*要素の入れ方*/
12
        /*配列名[添え字]-=-入れたい値。*/
13
14
        a[0] -= -10;
        b[3]-=-'c';
15
16
17
        /*初期値であれば中カッコでいっぺんに入れることもできる。*/
        int\Rightarrowc[3]-=-{5,-1,-3};
18
       /*この時は、c[0]-=-5,-c[1]-=-1,-c[2]-=-3*/
19
       /*いっぺんに初期化することも可能*/
20
        int · d[4] · = · {0};
21
22
        /*繰り返し構文用の添え字*/
23
24
        int⇒i;
25
        int⇒ans;
        /*この書き方であればiは10未満、つまり9まで動く*/
26
        for \cdot (i = 0; \cdot i < 5; \cdot i + +)
27
28
        ⇒ a[i]-=·i;
29
        /*main関数の戻り値*/
        return-0;
31
32
```

#### 配列に入った値の 確認と計算

- for文やwhile文と一緒に組み合わせることができる!
- ヒント: for文の中でifと組み合わせれば、偶数や奇数のみの足し算もできるよ!

```
/*参照するライブラリを指定*/
    #include <stdio.h>
    /*戻り値の型 関数名 (引数の型)*/
    int-main(void)
      /*宣言*/
    → /*型 配列名 [配列の大きさ]*/

→ int→a[5];

10
    → /*繰り返し構文用の添え字*/
    → int→i;
    → int→ans;
    → /*この書き方であればiは10未満、つまり9まで動く*/
   \rightarrow for (i = 0; i < 5; i++)

→ a[i]·=·i;
17
    → /*解答格納用の変数を宣言*/
   → int ans;
   → /*変数を初期化、しないとゴミ(変な値)が入っている*/
21

→ ans -= -0;

   → /*繰り返し構文と計算の組み合わせ*/
   ⇒ for · (i · = · 0; · i · < · 5; · i++)</pre>
          /*配列の値の確認*/
    printf("a[%d]-=-%d\n",-i,-a[i]);
    → /*ansにa[i]を足していく*/
          ans += a[i];
   → /*結果の表示!*/
    → printf("%d\n",ans);
32
      /*main関数の戻り値*/
       return-0;
34
```

# 演習問題!

• Q6.

**31から37**まで1間隔の整数値が入った配列を作って、 **先頭から2番目の要素と先頭から5番目**の要素を足した結果を表示してみよう!

・ヒント: for文は初期値と終了の値を指定できたよ…?配列も値の場所を決められたはずだ…

(所要時間は10分)

#### 演習問題!

• Q6.

31から37まで1間隔の整数値が入った配列を作って、2番目の要素と5番目の要素を足した結果を表示してみよう!

• ヒント: for文は初期値と終了の値を 指定できたよ…?配列も値の場所を 決められたはずだ…

```
#include <stdio.h>
     int-main(void)

    int→a[7];

     → int·i;
     → /*解答1*/
     \rightarrow for \cdot (i = 31; ·i \cdot \langle -38; \cdot i++ \rangle
     \Rightarrow a[i·-·31]·=·i;
          printf("answer = %d\n",a[1] + a[4]);
13
14 \rightarrow i·=·31;
    → /*解答2*/
    → while (i < 38)</p>
     \Rightarrow a[i·-·31]·=·i;
19 → i++;
20
printf("answer-=-%d\n", -a[1]-+-a[4]);
22
```

# 演習問題!

• Q5.1から100までの平均を出して、それを表示してみよう! ヒント: 割り算の結果は少数部が…あれ?整数型ではない…? 表示の仕方は…? おっと、これ以上は人が来たようd(ry 制限時間(7分)

#### 解答

Q5.1から100までの平均を出して、それを表示してみよう!

```
#include <stdio.h>
     int-main(void)
        double ans;
     → int·i;
    ⇒ ans -= -0;

→ i - = - 0;
   → /*i-=-1;からにしてwhile(i-<=-100)でもいいよ!*/
10
    → while (i < 100)</p>
    \rightarrow ans +=\cdot(i-+\cdot1);
13
14

→ i++;
15
   → /*答えを違う変数に格納してもいいよ!*/
16
17 \Rightarrow ans \cdot /= \cdot 100;
   printf("average = -%f\n", ans);
18
19
```

次回!条件文について!

ifif ··· else if ··· elseswitch

## アンケートへの解答

- 競技プログラミングについて
- ->ライン(おいでよU-labの森2021)に参加している人は5/16のラインを参考に!
- c言語を使ったアプリの作り方!
- ->ライブラリ関数の自作をやってみるといいかも!手始めに、strlen関数を自作してみよう!(現段階でstrchr関数とかも自作できるはず。)

### 告知

- 今回もアンケートをコメント欄に貼っておきました!答えてくれたら うれしーなー!
- UU-Circleについてのアンケートにお答えください!

(<a href="https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLScm6ocHadalWp8PnX">https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLScm6ocHadalWp8PnX</a> https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLScm6ocHadalWp8PnX</a> https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLScm6ocHadalWp8PnX</a>

# FIN!